

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 佐々木 卓 (TEL) 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	657,122	2.1	3,088	△19.7	3,706	△21.6	2,124	△34.5
2022年3月期第1四半期	643,586	-	3,846	-	4,730	-	3,242	-

(注1) 包括利益 2023年3月期第1四半期 9,122百万円(381.9%) 2022年3月期第1四半期 1,892百万円(-%)

(注2) 2022年3月期第1四半期の増減率については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用による会計方針の変更に伴い記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.50	-
2022年3月期第1四半期	15.32	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,328,026	475,488	35.8
2022年3月期	1,303,991	471,835	36.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 475,211百万円 2022年3月期 471,593百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	27.00	-	27.00	54.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	28.00	-	29.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,304,000	1.2	7,600	△16.6	9,500	△13.3	5,400	△22.7	26.68
通期	2,618,000	1.3	29,500	1.4	32,800	0.7	21,200	△34.1	104.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期 1Q	235,017,600株	2022年3月期	235,017,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期 1Q	32,648,363株	2022年3月期	32,648,047株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期 1Q	202,369,407株	2022年3月期 1Q	211,672,087株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬B I P信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、今年度新たに「22-24中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～（以下「22-24中計」という。）」を策定し、グループ経営方針に掲げた「事業モデルの強化と新たな価値の創造」「グループ一体となった取り組みによる地域の健康・医療への貢献」「環境保全への取り組み等を通じたサステナブル社会への貢献」「ダイバーシティを中心とした人財戦略の推進」「コンプライアンスの遵守を最重要とする企業風土の醸成」に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、収束の見通しが立たない状況のなか、生命関連商品を取り扱う社会インフラとしての使命を果たすべく、感染再拡大防止の対策を行うとともに、お取引先様および当社グループ従業員の安全を確保しながら医薬品等の安定供給に努めております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6,571億22百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益30億88百万円(同19.7%減)、経常利益37億6百万円(同21.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益21億24百万円(同34.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等卸売事業におきましては、スペシャリティ領域ならびにメディカル品へのリソース集中とDXによる事業変革を図るべく、「22-24中計」の重点施策として掲げた「既存事業の強化」「事業変革による収益化」「グループ全体での最適化・効率化・標準化」に取り組んでおります。

当社グループでは、新たな医療サービスの開発に挑戦する様々なベンチャー企業との提携により、医療分野における課題解決への取り組みを進めております。2022年6月、連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)は医療機関専用のスマートフォンサービスである「日病モバイル」を提供する株式会社フロンティア・フィールド(本社：東京都港区)との間で資本業務提携契約を締結いたしました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、市場の伸長および独占禁止法違反による医療機関における入札指名停止期間の終了等の影響により増収となった一方で、2022年4月に実施された薬価改定等の影響から、売上高5,854億39百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益24億43百万円(同18.9%減)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高45億7百万円(同8.2%増)を含んでおります。

#### ② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「高収益化への取り組み」「グループ連携強化」「事業変革による収益力強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染予防関連商品の需要の落ち込みや競合他社との競争激化による減収の一方で、利益・コスト面の管理を徹底したこと等により、売上高596億17百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益4億48百万円(同0.8%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高1億42百万円(同25.1%増)を含んでおります。

## ③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「次代の基盤創り」ー企業価値の最大化ーを目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくり」「トータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み」「デジタルを活用した新たな取り組み」を推進しております。

2022年5月、連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)とサンノーバ株式会社(本社：群馬県太田市)は、アルフレッサ ファーマ株式会社を存続会社とする吸収合併に基本合意いたしました。両社が統合する新会社は、新たな価値の創造を通じて顧客満足を追求し、当社グループが掲げる「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム®」の実現に貢献してまいります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、製造販売権を承継した長期収載品の売上伸長および新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原迅速検査キット「アルソニック® COVID-19 Ag」の需要が拡大している一方で、受託製造における減収や減価償却費等の経費増により、売上高109億59百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益2億7百万円(同61.2%減)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高30億96百万円(同9.0%増)を含んでおります。

## ④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、予防からターミナルケアまでライフジャーニーにおけるすべてのステージに対応する「かかりつけ薬局」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「在宅医療への取り組みによる事業の成長」「DXによる事業変革」「未病予防への取り組み」を推進しております。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、薬価改定による減収の一方で、連結子会社のアポクリート株式会社(本社：東京都豊島区)による同社子会社(非連結子会社)からの事業譲受に伴う増収等の影響により、売上高88億50百万円(前年同期比5.7%増)、営業損失92百万円(前年同期は営業損失2億72百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して240億35百万円増加し、1兆3,280億26百万円となりました。

流動資産は、99億51百万円増加し、1兆264億22百万円となりました。これは主として、「受取手形及び売掛金」が156億27百万円増加した一方で、「現金及び預金」が22億49百万円減少および未収入金等の「その他」が37億26百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、140億84百万円増加し、3,016億4百万円となりました。これは主として、物流センター等の設備投資などに伴い有形固定資産が18億19百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い「投資有価証券」が114億74百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して203億81百万円増加し、8,525億38百万円となりました。

流動負債は、207億16百万円増加し、8,235億29百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が247億56百万円増加および「賞与引当金」が13億33百万円増加した一方で、「未払法人税等」が51億2百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、3億34百万円減少し、290億8百万円となりました。これは主として、リース債務等の「その他」が3億62百万円減少したことによるものであります。

## ③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して36億53百万円増加し、4,754億88百万円となりました。これは主として、配当金の支払い等により「利益剰余金」が33億43百万円減少した一方で、保有株式の時価上昇等に伴い「その他有価証券評価差額金」が70億23百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における市場の動向および当社グループの業績は概ね計画通り推移しており、本年5月16日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	180,436	178,186
受取手形及び売掛金	602,488	618,115
商品及び製品	140,156	139,020
仕掛品	1,294	1,578
原材料及び貯蔵品	5,439	6,076
その他	88,908	85,181
貸倒引当金	△2,252	△1,736
流動資産合計	1,016,471	1,026,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,708	63,053
土地	70,018	70,166
その他（純額）	29,031	31,359
有形固定資産合計	162,758	164,578
無形固定資産		
のれん	2,913	2,832
その他	15,894	16,200
無形固定資産合計	18,807	19,032
投資その他の資産		
投資有価証券	87,284	98,758
その他	22,444	22,989
貸倒引当金	△3,774	△3,755
投資その他の資産合計	105,954	117,993
固定資産合計	287,520	301,604
資産合計	1,303,991	1,328,026

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	755,250	780,006
短期借入金	48	30
未払法人税等	10,922	5,819
賞与引当金	6,835	8,169
役員賞与引当金	407	153
株式給付引当金	44	—
役員株式給付引当金	59	—
その他	29,245	29,350
流動負債合計	802,813	823,529
固定負債		
株式給付引当金	—	19
役員株式給付引当金	—	24
独占禁止法関連損失引当金	3,994	3,994
退職給付に係る負債	8,075	8,058
その他	17,273	16,910
固定負債合計	29,343	29,008
負債合計	832,156	852,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	101,660	101,660
利益剰余金	352,015	348,671
自己株式	△44,625	△44,625
株主資本合計	427,504	424,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,760	51,784
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	△3,360	△3,360
為替換算調整勘定	200	278
退職給付に係る調整累計額	2,487	2,347
その他の包括利益累計額合計	44,088	51,050
非支配株主持分	241	276
純資産合計	471,835	475,488
負債純資産合計	1,303,991	1,328,026

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	643,586	657,122
売上原価	600,222	614,629
売上総利益	43,363	42,493
販売費及び一般管理費	39,517	39,404
営業利益	3,846	3,088
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	545	362
不動産賃貸料	154	155
その他	288	184
営業外収益合計	999	713
営業外費用		
支払利息	20	17
不動産賃貸費用	47	47
その他	48	30
営業外費用合計	115	95
経常利益	4,730	3,706
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	74	22
減損損失	2	1
投資有価証券評価損	56	104
その他	—	5
特別損失合計	133	136
税金等調整前四半期純利益	4,602	3,570
法人税、住民税及び事業税	5,797	5,523
法人税等調整額	△4,439	△4,113
法人税等合計	1,358	1,410
四半期純利益	3,244	2,159
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,242	2,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	35



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,296	7,023
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	54	77
退職給付に係る調整額	△110	△139
その他の包括利益合計	△1,351	6,962
四半期包括利益	1,892	9,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,890	9,087
非支配株主に係る四半期包括利益	2	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

連結子会社であるアルフレッサ株式会社は、2021年11月9日、独立行政法人国立病院機構(NHO)または独立行政法人労働者健康安全機構(JOHAS)が運営する「九州エリア」に所在する病院が調達する医薬品に関して独立行政法人国立病院機構本部が行う入札等において、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会の立入検査を受けております。当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。検査は継続中であることから、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケーシ ョン卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	563,524	63,453	8,238	8,369	643,586	—	643,586
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,164	113	2,839	—	7,117	△7,117	—
計	567,688	63,567	11,078	8,369	650,704	△7,117	643,586
セグメント利益又は損失(△)	3,013	444	534	△272	3,720	126	3,846

(注1) セグメント利益の調整額126百万円には、セグメント間取引消去57百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケーシ ョン卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	580,932	59,475	7,863	8,850	657,122	—	657,122
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,507	142	3,096	—	7,745	△7,745	—
計	585,439	59,617	10,959	8,850	664,868	△7,745	657,122
セグメント利益又は損失(△)	2,443	448	207	△92	3,006	82	3,088

(注1) セグメント利益の調整額82百万円には、セグメント間取引消去△31百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用113百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

2022年6月21日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、2022年7月15日に自己株式の消却を実施いたしました。

1. 消却した株式の種類 普通株式
2. 消却した株式の総数 32,177,600株(消却前の発行済株式総数に対する割合13.69%)
3. 消却後の発行済株式総数 202,840,000株